

シンポジウム：地球規模の環境汚染に関する科学と政策（1）

「船舶からの硫黄酸化物及び粒子状物質の排出規制：
地球規模での大気汚染対策の意義と影響」

船舶による輸送は世界経済を支える重要な社会基盤ですが、そこからの排出ガスに含まれる大気汚染物質は地域や地球規模での環境問題をもたらしています。このシンポジウムでは、2020年1月に強化された船舶からの硫黄酸化物（SOx）及び粒子状物質（PM）の排出削減を目的とした規制を例に、国際的な法整備から規制の実施、規制強化の評価に至る事例を学び、多様な地球規模課題の解決に向けての討論を行います。

プログラム

開催日時：2021年11月29日（月） 13：30～16：30

（講演の持ち時間には10分間の質疑応答を含む）

13:30～13:35 長田和雄（名古屋大学大学院環境学研究科 教授） 開会の挨拶

13:35～14:05 坂本尚繁（（公財）日本海事センター 研究員）

「国際海事機関（IMO）におけるSOx規制の概論および遵守確保に係る意義と課題」

14:05～14:45 華山伸一（IMO 燃料供給可能性調査・第4次GHG調査 コンソーシアムメンバー）

「国際海事機関（IMO）における大気汚染規制の歴史と将来」

14:45～14:55 休憩（10分間）

14:55～15：35 櫻井達也（明星大学理工学部 准教授）

「観測および数値シミュレーションに基づく規制強化の効果」

15:35～16:05 村上裕一（北海道大学大学院法学研究科・公共政策学連携研究部 准教授）

「船舶分野の規制の特徴」

16:05～16:25 総合討論

16:25～16:30 山岡耕春（名古屋大学環境学研究科 研究科長） 閉会の挨拶

主催：名古屋大学 環境学研究科

共催：名古屋大学 フューチャー・アース研究センター

参加可能人員：300名（申し込み先着順）

申込先：下のURLからお申し込みください

<https://forms.gle/yBJGBmuMMsx6TKrp9>

申し込み締切：2021年11月24日（木） 15：00

問い合わせ先：kosada@nagoya-u.jp（世話人：環境学研究科 長田和雄）